

文字ひろい 文章をよみながら文字を拾ってみましょう

次のかな文の意味を読み取りながら、同時に「あいうえお」をひろいあげて、その文字に「〇」をつけてください。(制限時間2分 程度)

NO.MH00001

おやゆずりのむてっぽうで子どものときから
そんばかりしている。
しょうがっこにいるとき、がっこのにかいからとびおりて
こしをぬかしたことがある。
なぜそんなむやみをしたときくひとがあるかもしれぬ。
べつだんふかいりゆうでもない。
しんちくのにかいからくびをだしていたら、
どうきゅうせいのひとりがじょうだんに、いくら
いばっても、そこからとびおりることはできまい。
むしやーい。とはやしたからである。
こづかいにおぶさってかえってきたとき、
おやじがおおきなめをしてにかいぐらいくから
とびおりてこしをぬかすやつがあるかといったから、
このつぎはぬかさずにとんでみせますとこたえた。

〇の数: 38個

日付: 月 日



文字ひろい 文章をよみながら文字を拾ってみましょう

次のかな文の意味を読み取りながら、同時に「あいうえお」をひろいあげて、その文字に「〇」をつけてください。(制限時間2分 程度)

NO.MH00002

わがはいはねこである。

なまえはまだない。

どこでうまれたかけんとうがつかぬ。

なんでもうすくらいじめじめしたところでにやーにやー^{ない}いたことだけはきおくして^{いる}。

わがはいはここではじめてにんげんといふものをみた。

しかもあとできくとそれはしょせいといふにんげんで
いちばんどうあくなしゅぞくであつたそ^うだ。

このしょせいといふのはときどきわれわれをつかまえて
にくうといふはなしである。しかしそのとうじは
なんといふかんがえもなかつたから
べつだんおそろしいともおもわなかつた。

〇の数: 39個

日付: 月 日



文字ひろい 文章をよみながら文字を拾ってみましょう

次のかな文の意味を読み取りながら、同時に「あいうえお」をひろいあげて、その文字に「〇」をつけてください。(制限時間2分 程度)

NO.MH00003

ふたりのわかいしんしが、すっかりいぎりすの
へいたいのかたちをして、ぴかぴかするてっぽうを
かついで、しろくまのようないぬをにひきつれて、だいぶ
やまおくの、このはのかさかさしたとこを、こんなことを
いいながら、あるいておりました。「せんたい、ここらの
やまはけしからんね。とりもけものもいっぴきもいやがら
なんでもかまわないから、はやくたんたーんと、やってみ
たいもんだなあ。」「しかのきいろなよこつぱらなんぞに、
にさんばつおみもうしたら、ずいぶんつうかいたろうねえ。
くるくるまわっては、それからどたつとたおれるだろうねえ。」
それはだいぶのやまおくでした。あんないしてきた
せんもんのてっぽううちも、ちょっとまごついて、どこかへ
いってしまったくらいのやまおくでした。

〇の数： 42個

日付： 月 日



文字ひろい 文章をよみながら文字を拾ってみましょう

次のかな文の意味を読み取りながら、同時に「あいうえお」をひろいあげて、その文字に「〇」をつけてください。(制限時間2分 程度)

NO.MH00004

ごーしゅはまちのかつどうしゃしんかんで
せろをひくかかりでした。けれどもあんまりじょうずで
ないといひょうばんでした。じょうずでないどころでは
なくじつはなかまのなかではいちばんへたでしたから、
いつでもがくちようにいじめられるのでした。
ひるすぎみんなはがくやにまるくならんでこんどの
まちのおんがくかいへだすだいろくこうきょうきょくの
れんしゅうをしていました。とらんぺっとはいっしょ
けんめいうたっています。うあいおりんもふたいろ
かぜのようになっています。くらりねっともぼーぼーと
それにてつだっています。ごーしゅもくちをりんと
むすんでめをさらのようにしてがくふをみつめながら
もういっしんにひいています。

〇の数: 38個

日付: 月 日



文字ひろい 文章をよみながら文字を拾ってみましょう

次のかな文の意味を読み取りながら、同時に「あいうえお」をひろいあげて、その文字に「〇」をつけてください。(制限時間2分 程度)

NO.MH00005

あるふるいいえの、まくらなてんじょううらに、
「つえ」というなまえのねずみがすんでいました。
あるひつえねずみは、きょろきょろしほうをみまわし
ながら、ゆかしたかいどうをあるいていますと、むこう
からいたちが、なんかいいものをたくさんもって、
かぜのようにはしってまいりました。そして
つえねずみをみて、ちょっとたちどまつてはやくちに
いました。「おい、つえねずみ。おまえんとこの
とだなのあなから、こんぺいとうがばらばらこぼれて
いるぜ。はやくいってひろいな。」
つえねずみは、もうひげもぴくぴくするくらい
よろこんで、いたちにはおれいもいわずに、
いっさんにそっちへはしっていきました。

〇の数： 48個

日付： 月 日

